

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876)代 2100番
 印刷所 潮東印刷所 電話(018876)2430番 (一部五円)
 郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

<ミニ解説>

樹木の果す役割

森林は気候的環境を緩和したり、集中豪雨などによる災害を防ぐなど、国民生活環境の保全や国土保全に果す役割は極めて大きい。このため自然保護を考慮した森林対策に対する要請がいっそう高まっている。70年3月現在までの県立森林公園は2057ha所175万ha。また保安林面積は563万haで目標の85%に達している。

本町の植樹祭は5月4日富津内中津又山国有林でおこなわれる。この機会に植樹の果す意義とその役割をみんなで考えてみようではありませんか。

端午(たんご)の節句

5月節句がもうすぐだ。5日の端午の節句をいう端午は中国からの輸入で行事自体も中国の影響をうけていることは否定できないが、端は<初め>、午は月初めの5日、あるいは月の最初の午(うま)の日を意味するなどの説がある。

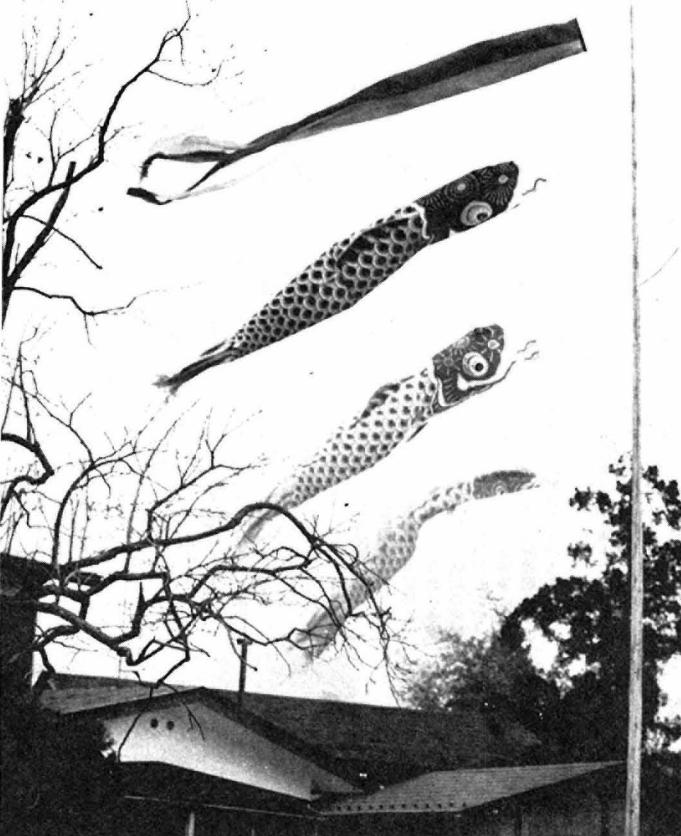
5月5日には家の軒にショウブをさす風習がある。その由来については山姥(やまうば)に追われた子どもが、ショウブの中にかくれて難をのがれたことによるという昔話がある。

鯉のぼりの由来は、竜門(中国黄河の上流にある)にのぼることのできたコイ(鯉)は、化して竜となるという伝説から、鯉の滝のぼりは立身出世のたとえにされて、江戸時代、5月節句のぼりの模様にも鯉の滝のぼりが描かれていた。はじめは、のぼりのまねき(磨とはのぼりの上方の横さおにつけるもので、普通に小旗を用いた。のちに、磨の鯉を大きく作ってそれだけをさおの先につけて立てるようになったのが今日のこいのぼりである)に紙製の墨をつけることからはじまったが、明治時代から黒鯉と赤鯉(ひごい)をとりませ立てるようになった。

5月節句の行事にはいろいろある。男の児が印地打(石打)をしたり、ショウブタタキといって、ショウブを束にして地面を打って歩く風習は古くからあった。

また山形や秋田県では、耳くじりといつて5月5日の朝、シオデ(牛尾菜)という草を耳にあてる、そのとき(悪いことを聞かないように、よいことを聞くように)となえごとをするところがある。

季節の移り変りは如何にもゆるやかにやってくる百花爛漫のさくらで春だけなわを知り、鯉のぼりの泳ぐ姿に季節の接点を知る。間もなくカタコウの澄んだ声が耳を楽しませることだろう。初夏は農繁期のスタートでもある。



鯉幟なき子ばかりが木に登る

☆
 岬を枕に眠りにつくのですが、
 ☆
 のなしとげた数々の事業に心を打
 たれ、この星空の美しい町、先人
 の築いた五城目の町を守ろう、發
 展させようと決心しつつ、中山の
 岬を枕に眠りにつくのです。
 ☆
 ☆

の家に寝ているのです。それから
 あ、京城じゃなかった、ええとこ
 こはどこだけ、くらやみの中で
 さんざん考えたあげく、やっと引
 揚げて五城目で結婚して子どもが
 生まれたというところまで思い出
 し、さてその夫と子はと遠方に暮
 れながら探しはじめたのです。
 先生をやめて店の経営をやつて
 いるというところまで辿りつくの
 が午前九時ごろで、それから三時
 (銀行がしまる)までは、もっぱ
 ら日本の経済界の動向を案じて
 わたしは実業家である、もう少しや
 くつちや話にならない、よオしゃけ
 るぞ!—と意氣天に達すれば、店
 の硝子戸の外にはいつのまにか、
 脊闇が降りていて、他の店が戸を開
 めはじめているのです。
 夜も十時をすぎるのは、郷土
 史をひもとして、三浦氏と安東氏
 ののじとげた数々の事業に心を打
 たれ、この星空の美しい町、先人
 の築いた五城目の町を守ろう、發
 展させようと決心しつつ、中山の
 岬を枕に眠りにつくのです。
 ☆
 ☆

夜と朝の間に

館町菅礼子

夜明
け、目
ざめ
し
ばら
わくの間

広報
サロン
ROOM



町を花いつぱいに

—草花苗を無料配布—

本町では環境美化運動の一環として花いつぱい運動を展開することになったがこの推進母体は、町はじめ教育委員会、公民館などである。その実施内容は次のとおりなので、町内のみなさんや、子どもも会など積極的に申し込んでこの制度を活用してください。

① 推進のねらい

近年、生活は向上し、物質は豊富になりましたが、その反面美しく清らかだった郷土の山河は、しだいに自然環境がそこなわれつつあることは大変残念なことです。澄んだ大気、緑の山、清い流れ、花のある暮らしをみんなの力でとりもどさなければなりません。全町民が一体となって美しい五城目町をつくりあげるために、花いつぱい運動を推進していきましょう。

② わが家に花を

花のある生活は美しく、楽しい毎日に情緒を育てます。花のある部屋、花のある庭を心がけましょう。家族みんなが分担してわが家の花いつぱい運動をすすめましょう。

③ 町内、部落、団地に花を

町内部落、団地の方々が話し合って、美化運動推進の工夫をして、花だんの場所を見い出して、共同で花をつくりましょう。子ども会、婦人会、青年会、老人クラブなどが協力し合って、その地域にふさわしい計画づくり、役割り分担をしてみましょう。

④ 学校や職場に花だんを

学校や職場でもすでに花だんづくりがおこなれてきておりますが、美しいものをすなおに美しいと感ずる情操をつくりあげるために、花いつぱい運動を通じて教育効果をあげたり、のぞましい職場づくりのために花だんづくりをしましょう。

⑤ わが町をより美しく

花いつぱい運動が、わが家から、わが町内部落から、わが校、わが職場からと波及することによって、わが町はより美しくなります。花いつぱい運動がみることによって、川にゴミを捨てない、紙くずや、吸いがらを捨てない、観光地をよごさないなど、一連の住民運動となっていくことが期待されます。

2、推進の母体 五城目町、五城目町教育委員会、五城目町公民館

3、推進の方法 花いつぱい運動を推進するために、次の方法で事業を行なう。

① 草花苗の無料配布

町内の子ども会、青年会、婦人会、老人クラブ、町内部落会、職場（町の施設をのぞく）に対して、5種類（サルビア、カッコウアザミ、マリーゴールド、ペニニア、ペチュニア）の草花苗を一団体、グループに300本見当を6月中旬に無料配布する。無料配布を希望する団体グループは、5月14日までに、五城目町公民館へ申し込むこと。

申し込みの際は、花だんの設置責任者名、設置場所、設置規模（設計図）管理の方法などを記入の上申し込むこと。

なお申し込み団体が多い場合（25団体以上）は選考の上決定する。

草花苗の無料配布を受けた団体グループに対しては、技術的な指導にも応ずるほか、コンクールへの参加を条件として巡回指導を行なう。

② 運動の啓はつ、指導

花いつぱい運動を広くすめるために、町広報に運動の趣旨などを掲載するほか、花だんづくりの手びきの発行や、求めに応じて現地指導を行なう

③ コンクールの実施

花だんづくりをしている団体グループを対象に、「花いつぱい運動コンクール」を行なう。コンクールの応募要領は別に定めるが、入賞団体グループに対しては記念品と、入賞記念標示板を授与する。

4、その他

花いつぱい運動に関する所管は五城目町公民館です。（電話4110番）



伊藤助役から委嘱状を受ける推進員

秋田県は全国的に脳卒中死亡率の高い県として知られており、しかも社会生活において働きざかりの年令層をおさなっている。県民保健上の重要な課題となる成人病の原因を知り、その予防に対する関心を喚起するため、大川地区において栄養改善学習を展開する事になった。主な内容は、食生活改善事業を展開し脳卒中の発生と死亡者の半減を目指す事で、各部落から三と四名の推進員を選び、大川地区全体で三十名となるが、これを町長が委嘱し、推進員は月十回の学習内容を部落住民に伝達し、食生活の改善をはかりながら成人病予防に役立てる仕組みになっている。



五高JR会員に感謝
去る二十五日からはじまつた雀鶴公園の観桜会場を五城目高校JR会員は、各々清掃用具を持参して心ない人々の汚した公園を見て違えるようきれいにした
観光協会では、毎年黙々とやつてくれる会員のみなさんの善行に心から感謝したいといつている。
写真は公園をはき清める会員のみなさん。

午前	九時三十分～十時三十分
午後	(南秋製材協会前)十一時～十二時
午前	(中央交通五城目営業所前)十一時～二時
午後	(五城目町役場前)二時三十分～三時三十分
午前	(五城目保健所前)三時三十分

五月九日に献血車あつかいが来町します。愛の献血にご協力ください。

日程はつきどおりです

年に一度は献血を

